

# 図書館ジャーナル2018 第1号

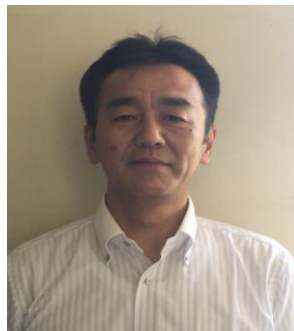
今年、新しく館一に赴任してこられた先生方にアンケートを実施しました！

1 自分と本 2 おすすめの本 3 先生になった理由、そして館一でのこれから について語っていただきました！



**川松秀夫校長先生**

- 1 30歳の頃、堀田善衛の「インドで考えたこと」を読んだ。その本には「インドに行けば、人生観が変わる」と書かれており、私はその後2回インドへ1人旅にでかけた。現地では、「混沌」と「美味しいカレー」を味わったが、人生観が変わったのかは今でもわからない。
- 2 「僕は勉強ができない」(山田詠美)  
主人公は高校生である。この本を読むと、この世の中には多様な価値観があり、それらを大切にしようとする気持ちになる。  
「羊をめぐる冒険」(村上春樹)  
ワクワクしながら不思議な冒険に引き込まれること請け合いです。村上ワールドへようこそ！
- 3 教員になったきっかけは、学校や教員に対する疑問からでしたが、今は、教師という仕事を誇りに思っています。



**谷中藤雄先生**

- 1 「人民は弱し、官吏は強し」(星新一)  
以前からあまり読書はしませんが、何十年も前に読んだこの本が思い浮かびました。著者はSF短編小説で有名な作家ですが、この作品は著者の父親の伝記です。この父親が星薬科大の創始者であることで印象に残っているのかもしれない。
- 2 「看板学部と看板倒れ学部」(倉部史記)  
受験情報誌とは違う視点から大学の現状を分析しています。進路を考えると参考になると思います。
- 3 館一での高校生活が楽しくて、教職をめざしました。生徒の皆さんが高い目標をもって、高校生活を送ることを、いろいろな形で援助できればと思います。



**津田雅教先生**

- 1 脳の老化防止のためのパズル本  
例) スリザーリンク、数独、クロスワードパズル、ボンバーパズル  
広く浅い知識が得られる雑学本  
例) 徳富兄弟、兄の蘇峰はウ冠、弟の蘆花はワ冠。知ってた？
- 2 定番ですが「君の臍臓をたべたい」 3回は読みました。共病日記の部分は、何度も何度も読み返し、ページが取れそうになりました。ウルウルしたい方お薦めです。
- 3 先生になった理由は、うん十年前なので、忘れました。館一でのこれから→骨を埋めます。



## 中村泰之先生

### 2 「モウリーニョの流儀」

選手のモチベーション等をどのように管理するか、チームの戦力に応じた戦術の方法など興味深い一冊

### 3 高校時代の恩師の影響が大きい。先生との出会いが人生を変えたかも知れない。館一生、人との出会いを大切にしたい。



## 安田智美先生

### 1 「赤毛のアン」シリーズは、心を洗われる思いで何度も読みました。今も、子どもに絵本や児童書を読んだりして、良質なものに出会えると幸せです。

### 2 「太陽の子(ていだのふぁ)」(灰谷健次郎)

高校時代に読んで衝撃をうけました。筆者が物語を通して生き方、人との向き合い方について問いかけてきます。ぜひ読んでみてください。

### 3 私の父が教員をしていて、教員にはなりたくないと思っていました。それは高校時代に素晴らしい数学の先生に出会いましたが、変わりませんでした。しかし、大学で数学を学ぶ条件として親が教職課程を履修することを主張したので、教育実習に行くことになりました。そこでの経験のおかげで数学を教えたいと思うようになりました。

今は、皆さんに数学を教えるのが楽しみです。私のように、人生においてあり得ないことが現実になることもありますから、必要ないと思っていた勉強が必要になることがあります。前向きに勉強しましょう。



## 鈴木康弘先生

### 1 昔、同僚だった廣岡大介先生という先生が、バイク乗りだった私に「旅々オートバイ」という本を貸してくれました。読了し、旅への思いを抑えきれなくなった私は、すぐにツーリングに出かけました。「いつかこの本のようにツーリングの記録を本にしよう」という野心を持ち、立ち寄った場所食べたものまで、細かく記録するように努めました。あれから15年、出版の目途も立たず、バイクも廃車になりましたが、その後、自分で買った「旅々オートバイ」は今も本棚に飾ってあります。

### 2 「影法師」(百田尚樹)

人を信じることと「信じ切る」ことは全く違うことなのだという事を再認識させられます。著者の代表作「永遠の0」に勝るとも劣らない傑作です。

### 3 とにかく人と話すのが好きなので、地域や日本を担う若者たちとたくさん話すことのできるこの職業を選びました。授業でも「アクティブ・ティーチング」を信条に話し続けてきましたが、今は教師があまり話さないのが良しとされる「アクティブ・ラーニング」の時代。館一生の様子を見ながら、バランスのとれた授業を展開していきたいと思えます。よろしくお願ひします。



**横山貴史先生**

- 1 「ハリーポッター」シリーズ  
人生で初めて小説を全巻買って一気に読んだ程はまったから！
- 2 何でも良いので、とにかく「これなら読める」「これは好き」と思える本
- 3 「教えたい、指導したい」という気持ちを叶えるために先生に！館一で全国出場を達成します！



**渡邊拓也先生**

- 1 「ウォルト・ディズニー すべては夢みることから始まる」  
自身が子どもの頃感じていた違和感を自分の理想の形にして実現していく過程は、本当にスゴイ！自分も現状に満足せず頑張っていきたいと思える内容
- 2 「IQ84」(村上春樹)  
夜寝られなくなるくらい熱中して読みました。面白い！！
- 3 歴史が好きで先生になり、その面白さを少しでも伝えていきたいと思っています。



**松山修先生**

- 1 小学生の頃からSFが好きで、世界や宇宙の広がりや、たくさんの『夢』を見ることができました。自分が生きていく糧のひとつです。本を読むことにより新しい『視点』を手に入れることができます。
- 2 SF作家では、アイザック・アシモフ、アーサー・C・クラーク、J・P・ホーガンがお勧めです。アシモフならば「銀河帝国の興亡1~3」クラークならば「幼年期の終わり」、ホーガンならば「星を継ぐもの」など。高校生の皆さんには、フィクション、ノンフィクションを問わず、「面白そう」と思える本は、時間が許す限りどんどん読んでみてください。必ず自分の世界が広がります。
- 3 高校時代、将来の夢はエンジニアか何かの研究ができる職業に就きたいと考えていましたが、生徒に夢を育み、実現する手助けができる職業ということで教師になりました。これから下館一高の皆さんがそれぞれの『夢』を実現できるよう、手助けができれば、と思います。



## 萩原晃先生

- 1 その本との出会いは 50 年以上前で、ワクワクしながら読んだ記憶だけが残っている。内容は 1 本のロウソクについていろいろな理科の目で書かれているだけだが、その中には自然の神秘・自然の驚異...が詰まっていたのである。ただ年月とともに詳細はフェードアウトしている。概して、小学生の頃多くは理科好きで私もそうであった。また、理科といえば昆虫採集など、どちらかというと生き物や岩石であった。しかし、この本によって理科の目はそれだけではないことを教えられた。生物・地学的なものから科学的なものへと変え、大学では物理を専攻することになったのである。理科から物理へ、方向付けをしてくれた本、「ロウソクの科学」である。
- 2 「続・日常の物理事典」(近角聡信)  
息抜きにどうぞ！物理を息抜きに？これには疑う人も多  
いはずである。「日常」と「事典」なので、扱う内容は身  
の回りの事象を物理的に解説し、各項目が 1~2 ページと  
短くまとめられていて読みやすい。例えば、「ゴミはなぜ  
端の方にたまるか」「雨漏りについて」…など多岐にわた  
る。数式はあまり出ず、この切り口は事象のしくみを理解  
しようとする物理の本質であり、新鮮に映るだろう。実  
は、数年前に私が希望図書として購入していただき図書  
館の小論文対策コーナーにある。授業の物理の息抜きに  
また雑学としてでも視野を広げたい方、是非手に取っ  
てもらいたい。
- 3 教員になった理由は正直判然としない、大学卒業時あま  
り外に目が向いていなかったからかと思う。年齢的に教諭  
という立場にいられるのは今年度が最後となる。その貴  
重？な 1 年を他の職業ではなかなかできない経験、「多く  
の若い人と接する」「人を育てる」…という大変さや楽し  
さに感謝しながら日々を送りたい。



## 岡田実先生

- 1 40 年以上の読書歴があるので、いろいろあると思います  
ので、一つに絞れません。好きなジャンルは歴史、思想、  
科学などです。
- 2 これも一つにしぼれません。佐藤優と立花隆の対談本で  
「ぼくらの頭脳の鍛え方・必読の教養書 400 冊」というの  
がありますが、2 人の“知の巨人”はともに「推薦本を 100  
冊くらいに絞るのはきつい。1000 冊なら多少楽だが」と  
言っています。
- 3 教員になった理由は 2 つあります。一つ目は、実家の専  
業農家が政府の“減反政策”により将来性を失ったこと。2  
つ目は、小学生から高校生までバリバリの体育会系だった  
自分に疑問を持ち、常に勉強できる環境にある仕事に就こ  
うと思ったからです。

平成 30 年 6 月 19 日

図書委員会 図書館ジャーナル係